

先進と上質の融合

コックピット&パートナースペース

前席乗員それぞれが「自分の空間」を意識できるパーソナル感と、ドライブの楽しさを高める爽快感を両立させました。のびやかに弧を描くインストルメントパネルをセンターコンソールと

ドアライニングへ連続させ、乗員を包み込むようなラウンド形状を創出。インパネアッパーはシンプルな面をおだやかにスラントさせ、開放感と爽快感をもたらしています。



Photo:シーゴースト・アイボリー

メーター

スポーティーな大径2眼とし、立体指針とシンプルな目盛りで見やすく構成。メッキ加飾を精緻に施し高品位に仕上げました。中央には、4.3インチTFTカラー液晶のマルチインフォメーション・ディスプレイを配置し、さまざまな走行情報やHonda SENSINGの作動状況などを見やすく的確に表示します。



センターパネル

ナビゲーションディスプレイを視線移動の少ない上部に配置し、直下に、オーディオなどの操作をタッチパネルで直感的に行えるオンデマンド・マルチユース・ディスプレイとプログレッシブコマンダーを装備しました。視認性、操作性に優れたレイアウトに加え、ヘアライン加工を施した金属調ブラックパネルやソフトパッド、シルバー加飾などにより、上質感あふれるデザインを実現しています。

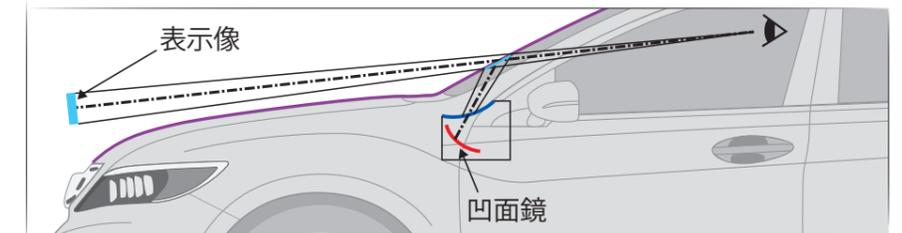


フロントウインドウ投影型ヘッドアップディスプレイ

視線移動の少ないフロントウインドウ投影型のヘッドアップディスプレイを採用しました。デジタル速度表示のほか、ナビゲーションシステムと連動して進行方向を示すターン・バイ・ターンなど、運転に役立つ情報を選択して表示できます。また、「SPORT HYBRID SH-AWD」ならではのトルクベクタリングをリアルタイムで確認できるモニタリング機能も備えました。



構造図



インストルメントパネルに内蔵したカラーディスプレイの画像を凹面鏡に反射させてフロントウインドウに投影します。凹面鏡の曲率を最適に設定し、運転時に焦点を合わせやすい遠視点としたうえで、結像部に特殊な中間膜を持つ専用ガラスを採用し、鮮明で見やすい画像を実現しました。

エレクトリックギアセクター

シフト操作をスイッチ式とすることでセンターコンソールからレバーを廃止し、これまでにない先進的な見え方を実現しました。スイッチは、ドライバーが手の届きやすい場所に集約配置したうえで、ドライブスイッチは斜め前方へのプッシュ式、リバーススイッチはプル式とするなど、人間の感覚にマッチした設定とし、ブラインド操作をも可能にする操作性を実現しています。

